項目		説明
試料・情報の利用目的及び利用方法	研究課題名	ステレオガイド下マンモトーム生検のマーカー移動に関する解析
	研究対象者	2023 年 4 月から 2025 年 12 月の間に神奈川県立がんセンターでステレオマンモトーム生検をうけた方
	研究目的	本研究では、ステレオガイド下マンモトーム生検後のマーカー移動の頻度、移動距離および方向を明らかにすることで、マーカー移動の実態を把握することを目的とする。 ステレオガイド下マンモトーム生検は、マンモグラフィで検出された微小石灰化病変に対する組織診断法として用いられている。後日生検部位が同定できるようにマーカーを留置し、それを目印に手術や経過観察を行うことがある。このマーカーが留置した部位と異なる位置に移動する場合があり、手術や経過観察に支障をきたすことがある。当院のステレオガイド下マンモトーム生検症例におけるマーカー移動の頻度および移動する原因につき検討を行う。 本研究によりマーカー移動の特徴やその原因を明らかにすることで、ステレオガイド下マンモトーム生検後の画像評価における注意点や、適切な clip 留置・管理方法の確立つながる可能性がある。
	研究方法	既存のカルテ情報を取得し、解析します。
	個人情報保護	対象となる患者さんの診療情報には個人情報が含まれますが、氏名や住所などの情報を削り、容易に個人を特定できないように研究用の番号（識別コード）で管理します。個人と識別コードを照合できるようにする対応表を作成しますが、パスワードロックや鍵をかけて厳重に保管し、院外へ提供することはありません。
	研究期間	西暦 2026 年 11 月 2 日～西暦 2027 年 3 月 31 日
	利用又は提供を開始する時期	[X]総長が研究実施を許可した日 [__] 西暦　　年　　月　　日頃（研究の進捗によって前後いたします）
利用する試料・情報の項目（チェック[X]が入った項目を利用します）	[__]試料:	[__]血漿、[__]血清、[__]全血、[__]末梢血から抽出した DNA、 [__]病理検体(具体的に記載:_____)、 [__]尿、[__]糞便、[__]唾液、[__]胸水、[__]腹水、[__]脳脊髄液、 [__]毛髪、[__]その他(具体的に記載:_____)
	[X]情報:	[X]診断名(臨床病期や分類、病理診断を含む)、[X]年齢、[__] 生年月日、[X]性別、[__]既往歴、[__]併存疾患、[__]外来日・入院日・退院日、[__]臨床検査値、[X]放射線診断や超音波検査、内視鏡検査等の画像データ、[X]臨床所見・経過（予後追跡データを含む)、[__] ゲノムデータ、[__]看護記録、[X]その他(具体的に記載: 病理結果)
試料・情報を利用する者の範囲	当センター研究責任者	所属・氏名 放射線診断・ＩＶＲ科　葛生里穂
	共同研究機関および責任者	なし
	その他の機関	なし
試料・情報の利用停止および情報公開に関する窓口		神奈川県立がんセンター　放射線診断・IVR 科　葛生　里穂 利用停止のお申し出は 2026 年 12 月 31 日までにお願いいたします ただし、お申し出いただいた時にすでにデータが固定され、研究成果が論文などで公表されていた場合には、患者さんのデータを廃棄できない場合があります